

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連  (東海)	良く なっている	百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・株価高とインバウンドで、売上、来客数共に底上げし、3か月前より増加している。
		家電量販店（店員）	単価の動き	・景気全体としての判断は難しいが、来客数は前年に比べて減少しているものの、客単価が上昇しているの で、良い業況にみえる。
		乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・客の様子からは、非常に良いとまでは言えないが、販売量の動きは良く、確実に良い方向にある。
		その他専門店 [貴金属]（営業担当）	単価の動き	・前月よりも販売量は増加している。客単価も高くな ってきており、来客数も増えている。
		その他サービス [介護サービス]（職員）	お客様の様子	・日中の障害者の一時支援や移動支援等の要望が増加 しており、外出して何かを購入したいというニーズが 強くなっている。
		住宅販売会社（従業員）	単価の動き	・販売量は前年と変わらないが、1棟当たりの販売価 格が上昇している。
	やや良く なっている	一般小売店[高級精肉]（企画担当）	販売量の動き	・賞与の増加やベースアップ等で、消費の動きに期待 感が感じられる。
		一般小売店[書店]（経営者）	販売量の動き	・客は、少しずつだが高くても良い物を買うようにな り、景気は少しずつ良くなってきている。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・ゴールデンウィークは、県外からの観光客や、遠出 をせず近場で買物をする地元客でにぎわい、売上高も 伸びた。キャンペーンを実施していたが、購買意欲の ある客は、キャンペーンとは関係なく購入している。 1品単価は低くても、まとめ買いをする客も多く、売 上は伸びている。
		百貨店（経理担当）	単価の動き	・レジャーやサービス等への支出で客単価が上昇して いる。
		百貨店（経営企画担当）	お客様の様子	・記録的な暑さで夏物商材が活発に動き、インバウ ンドや高額品需要も引き続き高く、売上は好調を維持し ている。前々年との比較でも、大きく上回っている。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・4～5月と売上は前年比で2けた近い伸びを示して いる。来客数の動きに比べて販売量の増加が目立って いる。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・今月の売上は、前年比120%を超え好調である。店 舗全体でも110%に達している。特売品だけでなく、 定番品の動きが良い。
		スーパー（店員）	単価の動き	・晴天に恵まれ、単価が高いスイカも多く売れてい る。ペットボトル飲料等の売上も順調である。
		スーパー（総務担当）	来客数の動き	・来客数が前年同期比で1.8%伸びている。
		スーパー（商品開発担当）	単価の動き	・来客数は変わらないが、1品単価と客単価の上昇 で、売上は増加している。
		コンビニ（企画担当）	それ以外	・同業他社の来客数や求人募集に対する状況を前年比 でみると、やや良くなっている。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数が前年同期比で1.2%改善している。新商品 の提供やキャンペーンを続けて実施することが、改善 に寄与している。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・5月は雨の日が少なく、来客数は前年比で上昇して いる。特に、後半は暑い日が続き、飲料が良く売れて いる。
		コンビニ（店長）	単価の動き	・来客数が前年よりも2%ほど伸びており、それに 伴って売上も伸びている。気候的な要因もあるが、景 気も多少良くなりつつある。
衣料品専門店 [紳士服洋品]（売場担当）	販売量の動き	・販売量の動きも良いが、客単価も上がってきてい る。		
家電量販店（店員）	販売量の動き	・高価格帯のエアコンや掃除機の売行きが良くなって いる。		
家電量販店（店員）	単価の動き	・客単価には少し改善がみられ、売上は増加してい る。ただし、客は、節約すべき物は節約するという意 識が徹底している。		
住関連専門店（営業担当）	販売量の動き	・持家住宅、分譲マンション物件が少しずつ動き始め ている。非居住分野では、公共施設関連は少ないが、 商業施設、病院等の現場が増え始めており、総じて建 築インテリアの市場が動き始めている。		
一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・取引先等では、設備投資を含む前向きな話が聞かれ るようになってきている。		

観光型ホテル (販売担当)	来客数の動き	・前月同様に、予算設定は少し抑え気味となっているが、今のところ、宿泊・宴会部門、食堂部門共に、前年実績を上回っており、全体的に予算達成水準に達しているため、やや良いと感じる。	
旅行代理店(経営者)	販売量の動き	・3か月前と比較すれば、少しは良くなってきている。	
旅行代理店(経営者)	来客数の動き	・連休明けから問い合わせが多い。リフレッシュ休暇や夏休みを6～9月にまとめて取得する傾向があるので、問い合わせも多く、お盆休みや9月の大型連休の予約は、既に混雑している。また、夏休みの旅行の客単価が年間でも最も大きい。	
旅行代理店(従業員)	販売量の動き	・団体旅行の取扱や引き合い件数が増えている。職場旅行を始め、企業や同業者との研修旅行、スポーツ団体での宿泊や貸切バス利用等は、引き合いが多く希望通りに確保できない状況である。企業が予算を福利厚生に回せるようになってきている。	
通信会社(企画担当)	販売量の動き	・異動シーズンは過ぎたが、引き続き、新規加入の問い合わせもそこそこあり、景気は悪くない。	
通信会社(営業担当)	販売量の動き	・通信利用量が毎月増加しつつある。	
通信会社(営業担当)	お客様の様子	・客の動きは、これまでは少しでも安い方へと流れていたが、今月は、安さよりも信頼性重視に変わってきたように感じる。	
テーマパーク (職員)	来客数の動き	・インバウンドの客が多い。	
ゴルフ場(企画担当)	来客数の動き	・今月はやや良くなっており、連休から順調に入場者数を伸ばしている。入場者数だけでなく、売上も予算比、前年比共に大幅にクリアしている。	
その他レジャー [スポーツレジャー紙](広告担当)	販売量の動き	・公営競技の売上高が増えている。	
変わらない	商店街(代表者)	販売量の動き	・これまでの傾向と同様に、販売量の伸びがみられず販売高の増加につながらない。
	商店街(代表者)	来客数の動き	・来客数はゴールデンウィークもほとんど変わらないが、依然として販売価格が低い。
	商店街(代表者)	単価の動き	・今月も、千円以下の商品の販売数が千円以上の商品を上回っている。来客数は横ばいであるが、実質的には売上減少である。客の財布のひもは、固いままである。
	商店街(代表者)	来客数の動き	・客は、買い控えが続き、節約志向が強い。
	一般小売店[結納品](経営者)	販売量の動き	・地方の小売業は、まだまだ厳しい状況である。
	一般小売店[生花](経営者)	それ以外	・高額商品も動いてはいるが、平均すると客単価はやや低下している。母の日の売上も、前年より10%近く落ちている。
	一般小売店[酒類](経営者)	来客数の動き	・平日の飲食店への来客数は、連休以降更に減っている。
	一般小売店[薬局](経営者)	来客数の動き	・気候もやや落ち着き、3か月前よりは多少良くなっているが、上向きとまでは言えない。特に5月の連休中は商売にならなかった。処方箋調剤の動きは安定しており、OTC(一般用医薬品)では鼻炎薬がそこそこの売上となっている。
	一般小売店[贈答品](経営者)	お客様の様子	・客層が二極化している。平均してみると変化はないが、中身が大きく変わっている。富裕層や給与が増えている客層は、それなりに購入量、購入金額も増えている。逆に、そうではない客層では、消費を控え儉約ムードが強まっている。全体的には同程度の売上を維持しているが、中身が大きく異なるため、上向きというよりは、変わらない状況が続いている。
	一般小売店[土産](経営者)	お客様の様子	・遷宮効果の反動減が続いている。間もなく遷宮前の水準に戻って底を打つ。
	一般小売店[自然食品](経営者)	お客様の様子	・一般的な商品に比べると価格帯が高めの商品が多いが、その中でも、販売量の上位には比較的小買得な商品が多くなっている。また、売上構成にもほとんど変わらない。
	百貨店(売場主任)	お客様の様子	・インバウンドが好調で、予算はクリアしているが、衣料品、食品は低調である。身の回り品やデパ地下商品には、購入を控えている様子がみられる。

百貨店（経理担当）	販売量の動き	・ヤング衣料を中心に販売は不調である。
百貨店（経理担当）	販売量の動き	・宝石・時計等の高級雑貨については比較的好調に推移している。ただし、衣料品については低迷状態から脱却できない。物産展についても、以前ほどの集客力がない。
百貨店（営業企画担当）	販売量の動き	・販売量は前年比ではプラスとなっているものの、前々年の水準には戻らず、消費税増税後の低迷が続いている。特に、ファッション部門では苦戦が続いている。また、ファッションに関しては低価格志向が根強い。
百貨店（販売担当）	単価の動き	・高額商品は好調に推移しているが、中間価格帯の動きが鈍い。特に衣料品の不振が目立つ。購入価格帯は生活レベルに比例すると考えると、中間以下の所得層では、景気回復や所得向上の動きが高額所得層ほどではなく、物価上昇から生活を防衛しようという意識が、今までよりも強くなっている感がある。
百貨店（販売担当）	お客様の様子	・ゴールデンウィークで集客は増えたものの、イベント等への反響は少なかった。購入意思はあるが、購入は6月になってからと言う客が目立ち、目の前の売上にはつながらないケースがみられる。
スーパー（経営者）	お客様の様子	・消費者の姿勢は相変わらず厳しく、小売チェーン店間での競争は激しい。スーパーでは、青果物の販売競争が一段と激しく、赤字覚悟の販売となっている。また、時期的に早く売場に出している果物等は、丸ごとでは高くなるので、小分けして、販売している。全体的には、景気は徐々に良くなってきているが、良い店と悪い店がはっきりしていて、売上が伸びない店は大苦戦しており、閉店も増えている。
スーパー（経営者）	お客様の様子	・小売店の中には、若干良いという店と前年を若干下回るという店があり、ばらつきがある。全体としては、前年とほぼ同様の売上高となっている。
スーパー（店長）	競争相手の様子	・競合店のチラシは、従来に増して低価格商品を打ち出してきており、チラシを打つ回数も増えている。価格競争は、より厳しくなっており、前年並みの来客数も確保できない状況である。
スーパー（店長）	単価の動き	・1品当たりの単価は、まだ上昇が続いている。しかし、購入点数の伸びは少なく、客単価が大きく伸びる状況ではない。
スーパー（店員）	販売量の動き	・今月は、ゴールデンウィーク等で金を使うこともあるが、比較的、販売量が少ない状況である。
スーパー（販売促進担当）	販売量の動き	・5月に入って天候の影響もあるが、衣料品の調子が良くない。食料品は何とか前年同期をクリアしているが、店舗合計では、前年割れとなっている。
スーパー（営業企画）	お客様の様子	・無駄な物への支出をせず、品質重視で必要な物に支出する傾向が定着してきている。品質の高い商品を取扱う店舗の売上は、客単価が上昇しており、好調を維持している。
コンビニ（エリア担当）	それ以外	・客はお買得な商品を選択する傾向にあり、売上は前年比100%を下回っている。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・前年の消費税増税後の反動減の影響で、売上は前年同期を上回っているが、来客数は、相変わらずマイナスのままである。
コンビニ（商品開発担当）	単価の動き	・消費税増税前と比較すると、ついでに1品の購入を控えていると感じる。学校周辺の店舗では、子供の小遣いが減っているのか、客単価が低下しており、特に、カウンターで提供している商品に影響が出ている。
衣料品専門店（販売企画担当）	競争相手の様子	・アパレル関連商品の動きは鈍い。高額商品も安価な物も、それほど動いていない。
乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・景気が良いと言えるほどではないが、必要な整備は後回しにせず、実施するようになってきている。新車への買換えの動きもある。
乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・都心や観光地、投資家や輸出企業等、部分的には好景気であるものの、好況の影響を受けない多くの企業や地域は、相変わらずの様子である。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・客の財布のひもは相変わらず固く、会話の中でも景気が上向いていると感じているような話題は出てこない。個人需要がなかなか回復せず、個人の懐が温かくなったと言う話題は、まだ耳にしない。

	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・いろいろな販売促進策を実施しているが、良くなっているという効果が認識ができない。
	その他小売 [ショッピング センター](経 理担当)	販売量の動き	・売上高は、前年比で4.8%プラス、来客数も前年比0.9%のプラスとなっているが、前年の消費税増税の影響である。
	高級レストラン (役員)	来客数の動き	・ゴールデンウィークの客足は、結果的に前年並みであった。ベースアップ等の報道はあったが、客単価等からみると、足元での効果は、さほど感じられない。
	スナック(経営 者)	来客数の動き	・経済情勢が今一つ安定せず、客は慎重になり財布のひもが固く、客足が伸びない。都会と地方には、景気回復にも差がある。
	その他飲食[仕 出し](経営 者)	販売量の動き	・連休が売上にプラス、あるいはマイナスに影響する商売があり、後者に該当するため、前月からの良い流れがいったん途切れて、痛手となっている。
	都市型ホテル (経営者)	来客数の動き	・当日の予約なしの宿泊客数が伸びない。
	旅行代理店(経 営者)	販売量の動き	・高齢者や富裕層は、豪華な海外旅行も可能だが、円安や少子化に伴い、日本人向け旅行商品は、競争の激化で利益性が悪化している。大規模な事業所は、スケールメリットでカバーできるが、中小零細事業者は、新たな収入源を確保しなければ、従前の延長線上のビジネスでは厳しくなる。
	旅行代理店(従 業員)	来客数の動き	・ゴールデンウィークの反動もあり、来客数は、やはり少ない。ただ、客単価は下がっていないので、これから夏に向けての予約に期待が持てる。
	タクシー運転手	お客様の様子	・長いゴールデンウィークで出費が増えたためか、夜の町は静かで、特に10日頃までは静かだった。10日以降もやや悪かったが、給料日を過ぎてようやく活気が出てきて、売上もやや戻ってきている。
	タクシー運転手	来客数の動き	・4月には繁華街への人出の多い日が、2~3回あり、5月にはもっと良くなると思っていたが、実際は非常に少なく、良くない頃の状態に戻っている。
	通信会社(サー ビス担当)	来客数の動き	・引っ越しシーズンが終わり、問い合わせ等の入電数はやや減少したが、新年度になって学校での利用や1人暮らし等で、インターネットの申込件数が増えている。
	テーマパーク (職員)	来客数の動き	・入館者数には上向きとなる兆しは確認できない。
	その他レジャー 施設[劇場] (職員)	販売量の動き	・例年よりも早い時期から暑いため、ビール券等の季節商材の出足が良い。
	美容室(経営 者)	お客様の様子	・客にゴールデンウィークの話等を聞くと、旅行等に出掛けた人は少ない。
	美容室(経営 者)	販売量の動き	・今まで店頭販売の商品を結構購入していた客が、年齢とともに買う機会が少なくなり、売上に影響している。
	その他サービス [介護サー ビス](職員)	それ以外	・仕入商品の値上がり分を販売価格に反映できないため、薄利で販売量を増加させなければならず、状況は厳しい。
	設計事務所(職 員)	お客様の様子	・住宅建築中に備品等を買う客の様子は、一般的なサラリーマン層の購入はまだ控えめであるが、収入が多い客層では、使えそうな家具があっても新調する等、それなりに良くなっていると感じる。
	住宅販売会社 (経営者)	競争相手の様子	・販売住宅の在庫はかなり少なくなっている。為替相場が一層の円安傾向なののが心配である。
	住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・住宅の販売量は横ばいである。
	その他住宅[不 動産賃貸及び 売買](経営者)	それ以外	・取引先等との話の中で、企業の規模や職種に関係なく、良くなっている会社と悪くなっている会社の二極化が進んでいる。
やや悪く なっている	一般小売店[食 品](経営者)	それ以外	・1年以上原材料費の上昇が続いているが、それに見合う商品の値上げは難しい状態である。若干のベースアップがあるにしても、それをはるかに上回る物価の上昇は、景気の回復を妨げている。
	百貨店(販売担 当)	お客様の様子	・購買まで比較検討の時間が長い客が多いように感じる。100円ショップへ行こう、という言葉もよく耳にする。
	コンビニ(エリ ア担当)	販売量の動き	・弁当やドリンク等の主力商品が、前年同期ほど売れないことが多くなっている。商品の値上げが続いているが、値上げした商品は動きが悪い。

	衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・今月中旬から急に暑くなっているにもかかわらず、夏物商品にはまだ本格的な動きがない。客の様子からは、購買意欲が全く感じられない。	
	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・4月に比べて5月の販売台数は更に大幅に減少しており、かなり厳しい状況である。前年と比較しても70%前後の台数で推移している。	
	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・売上は、前年同期に比べても、3か月前と比べても明らかに落ちている。	
	乗用車販売店 (従業員)	お客様の様子	・例年は、法人用車両の買換えが増える時期であるが、全く増えていない。個人客も物価の話ばかりで、車にかかる費用を節約している様子である。一部のオーナー企業では、景気が非常に良いのか、節税対策として高額な車両をたくさん購入している。しかし、全般的には景気が良いとは言い難い。	
	その他専門店 [書籍](店員)	来客数の動き	・新入学の需要期も一段落し、今月は、天候にも恵まれてレジャー等に消費が流れる傾向にあり、来客数は減少し、売上は伸び悩んでいる。	
	一般レストラン (経営者)	それ以外	・すべての食品、衣類品等が値上がりしている。	
	観光型ホテル (経営者)	来客数の動き	・昼食、夕食部門の売上は、前年比80%前後で推移している。宿泊部門も同じく95%程度で、全般的に景気の弱さが感じられる。地元経済は、まだ都市部ほど良くなっているとはいえない。	
	都市型ホテル (支配人)	来客数の動き	・宿泊需要に勢いが無い。	
	旅行代理店(経営者)	販売量の動き	・統一地方選挙以来、客の動きが停滞している。選挙の時には客足は悪くなるが、終わっても変わらない状況であり、好況さが感じられない。	
	タクシー運転手	お客様の様子	・5月は例年良くないが、特に今年はゴールデンウィークに地元や近隣の町で祭りがたくさんあり、そちらに金を使ったのか、夜の町には人出がなく、タクシーは暇である。	
	パチンコ店(経営者)	販売量の動き	・来客数の動きがやや悪くなっている。	
	理美容室(経営者)	来客数の動き	・あまり景気の良い話は聞かず、気候も良くなり客が増える時期だが、客が来ない。	
	美顔美容室(経営者)	来客数の動き	・来店客は、毎回予約した上で来店する人が多く、予約をせずに来店していた客の足が遠のいている。	
	設計事務所(職員)	お客様の様子	・打合せ時や現場での業者の話を聞いても、景気が良くなるような話は聞かない。	
	その他住宅[住宅管理](経営者)	単価の動き	・材料費が15~20%上がり、受注があっても利益が残らない。まだ厳しい状態が続いている。	
	悪くなっている	商店街(代表者)	販売量の動き	・必要最低限の物しか売れず、価格の高い商品が全く売れなくなってきている。客は、無駄な物は一切買わなくなってきている。
		乗用車販売店(経営者)	販売量の動き	・4月以降、厳しい状態が続いている。
		美容室(経営者)	競争相手の様子	・都会では景気が良いようだが、当地域は人口も流出しており、景気はあまり良くない。
		理容室(経営者)	お客様の様子	・景気の良い話はない。更に、近くに価格の安い店ができるようである。
企業動向 関連 (東海)	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	食料品製造業 (経営企画担当)	受注価格や販売価格の動き	・デフレ脱却と言う水準にはまだ少し物足りないが、新発売の高付加価値商品の売行きが良い。前年に比べて、確実に高付加価値商品の需要は高まっている。
		化学工業(人事担当)	それ以外	・スーパーの店頭では、輸入品を中心に販売価格が確実に上昇しており、国内製品でも多くの商品が値上げされている。そのため消費者には買い控えも感じられる。ただ、趣味用品等、消費が活発な商品もあり、全般的な景気としては上向きに感じる。
		化学工業(総務秘書)	それ以外	・株値上昇や円安の伸長、民間企業での過去最高益や人手不足等、景気が上向きとされるニュースが増えている。
		一般機械器具製造業(営業担当)	受注量や販売量の動き	・中国向けのスマートフォン生産設備の受注が、相変わらず好調である。
		電気機械器具製造業(企画担当)	受注量や販売量の動き	・明確な売上増加までには至っていないが、商談につながる問い合わせが、年明け以降は増えている。企業の投資意欲は、上向いている。

	輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	取引先の様子	・客先の設備投資が徐々に増えてきている。
	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・前年同月は消費税増税後で荷動きが非常に低調であったこともあるが、今月は前年同月を上回る荷動きがあり、景気の回復がみられる。天候が比較的安定しているのも好材料に感じる。
	輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・輸出貨物が堅調に伸びている。
	輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・発送便、到着便共に、荷物数が伸びてきている。
	輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・3か月前は、全社的に荷物の取扱量が前々年を下回る日が多かったが、今月は荷物が持ち直し、前年並の水準を何とか維持できるようになってきた。景気の良し悪しは別として、荷物量だけを見ると本来の状況になっている。
	金融業（企画担当）	取引先の様子	・円安、株価高が続いており、資産を持つ個人の購買意欲は、おう盛であると感じる。
	金融業（法人営業担当）	取引先の様子	・取引先の貴金属店では高級時計の売行きが好調であり、比較的若年層の客にも広がってきている。
	企業広告制作業（経営者）	それ以外	・有効求人倍率が上昇している。
	行政書士	受注価格や販売価格の動き	・燃料価格が少し下がっている。
	その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	受注量や販売量の動き	・公共の入札案件、一般企業の依頼案件共に、前年よりも増加しており、案件の取捨選択ができるようになってきている。
変わらない	出版・印刷・同関連産業（代表）	受注量や販売量の動き	・売上高が、前年に大幅に減少した数字をなかなかクリアできない。
	金属製品製造業（従業員）	取引先の様子	・東京を中心にプロジェクトの話があり、建築関連は活況を呈しているようであるが、実際に、足元の材料の荷動きが悪いという声を聞く。
	電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・取引先で半年間にわたって設備投資が続いているため、今月も同程度の売上が見込める。
	電気機械器具製造業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・円安の影響は小さく、あまり業況に変化は見込めない。
	電気機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・景気が悪い状況は、3か月前と変わらない。周辺事業者では、自動車、航空機、工作機関連では非常に良いという声も聞くが、電機・通信関連では、円安による輸入原料や商品価格の高騰で経営が厳しいと聞いている。
	輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・軽自動車の生産台数が減少し、部品の生産量もやや減っている。
	建設業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・4月の入札等で公共関係の業務を獲得できたが、この先の工事受注のめどが立つまでには、もう少し時間がかかる。
	輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・小売店向けや建築関連の物量は、低調なままで推移している。大きな変動がないので、低調ではあるが安定した利益を確保している。
	輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・貨物の動きが緩慢になっており、前年同期比マイナス9.5%と、前月に続いて落ち込んでいる。
	通信会社（法人営業担当）	それ以外	・円安、株価高の恩恵は一部企業や投資家のみであり、社会的な広がりが少ない。
	金融業（従業員）	取引先の様子	・足元の景気は比較的安定しており、例年よりも多少良いという印象である。自動車関連企業や部品関連メーカー等では、生産量もある程度安定している。
	不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・首都圏とは異なり、当地域の売買物件数には大きな動きはなく、銀行融資も慎重な姿勢である。
	不動産業（用地仕入）	競争相手の様子	・競合先のマンション販売価格や売行きには変化がみられない。
	不動産業（管理担当）	受注価格や販売価格の動き	・景気の良さは実感しない。ビルメンテナンスの受注価格は前年度から変わらず、客からは、コスト削減への協力を要求されている。スタッフの求人募集では、確保が難しい状況が続いている。
	広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・広告の受注量はほとんど変わらず、全体的に横ばい状態が続いている。

	公認会計士	それ以外	・クライアントでは減益の企業が多い。その原因として、人件費の増加や円安に伴い原材料価格が高騰する一方で、納入先の大企業が値上げに応じてくれないこと等がある。	
	会計事務所（職員）	取引先の様子	・一部の建設関係の業種では、受注増加も一段落となっている。耐震関連の工事が終わり、東京オリンピックのブームもここで一服といった感じである。飲食店や小売店でも、物価上昇が続く中で、安い物だけが売れる状況にある。	
	会計事務所（社会保険労務士）	取引先の様子	・建設業を中心に業績が向上している顧問先が多い。総合建設業は厳しいが、職別建設業は、総じて好調である。	
	その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	取引先の様子	・なぜか競合先、取引先や商社等のすべてで動きが止まり、停滞している。生産量は横ばいか、やや少なめである。	
やや悪くなっている	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・株価高や円安の影響で、世間では景気が良いと言われているが、受注量、販売量共に増加せず、業績は悪い。	
	化学工業（営業）	競争相手の様子	・4月より一部の原料費が下がり、競合他社は一層の価格引下げで売り込みを行っている。取引継続のため、価格を下げて対応しており、収益を圧迫している。	
	窯業・土石製品製造業（社員）	受注量や販売量の動き	・4月に主力商品の注文をまとめて受けた影響で、5月は一転して受注量が少なくなっている。8か月ぶりに残業の必要がない状況になっている。	
	鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・前年の消費税増税直後の落ち込みから比べると、4月は1割ほど回復したが、5月に入って一気に下降傾向となっている。4月に比べて2割近く販売量が減少している。	
	電気機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・客からは、相変わらず単価引下げや価格協力の要請が続いている。	
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・地価や建築価格の上昇により物件価格も上昇し、購入者のローン審査が通りにくくなっている。買いたくても買えない状況がしばらく続く。開発業者にとって強烈な逆風が治まる気配がない。	
	新聞販売店〔広告〕（店主）	受注量や販売量の動き	・新聞折り込み広告の受注量が減少している。また、新聞購読者も減少している。	
悪くなっている	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量が大幅に減少している。	
雇用関連	良く なっている	-	-	
(東海)	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・有能な求職者は、複数の会社から内定をもらっている。
		アウトソーシング企業（エリア担当）	採用者数の動き	・4月以降、新車販売台数が前年実績を上回り、今後の生産増強のための求人数の増加がみられる。
		職業安定所（所長）	求人数の動き	・新規求人数が、前年同日比で36.4%の大幅増加となった日もある。中小零細企業からの求人が目立つ。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規求職者が前年同月比で減少しており、事業主都合による退職も減少している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・医療・介護分野の人手不足は慢性化している。求人募集の際の企業の採用意欲は、全産業においてみられるが、正社員の求人数の伸びは鈍い。地域の主力産業である自動車等の製造業では、生産拠点が海外に移った影響も出ている。オートバイ関係は前年暮れに底を打ち、北米等を中心として需要は少しずつ増えてきている。また、窓口の求職者相談では、在職者の相談も徐々に増加傾向にある。
		民間職業紹介機関（支社長）	求人数の動き	・前年から設備投資が増えており、それに伴って中途採用の求人数も増えている。
		民間職業紹介機関（営業担当）	周辺企業の様子	・地元金融機関の開催したビジネスフェアでは、販路拡大を目指す出展企業や来場者が、以前に比べて増加している。また、出展企業の粗品等への投資も増加傾向にある。
変わらない	人材派遣会社（経営企画）	採用者数の動き	・人材を獲得する環境は、依然として厳しい。	
	人材派遣会社（社員）	雇用形態の様子	・派遣法改正の動きを静観している。	
	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・ゴールデンウィークは地元の祭りがあって、派遣スタッフの利用状況はあまり良くなかったが、ゴールデンウィーク後は例年並みの利用状況に戻っている。	

	人材派遣会社 (営業担当)	周辺企業の様子	・前年下期から好景気状態は続いており、高い水準で安定しているように感じる。
	新聞社 [ 求人広告 ] (営業担当)	求人数の動き	・地元大手企業の求人は減少傾向にあるが、人手不足の業界では、相変わらず厳しい状況が続いている。
	職業安定所 (職員)	採用者数の動き	・前年同期と比較して、正社員の中途採用数がやや伸び悩んでいる。
	職業安定所 (職員)	雇用形態の様子	・官庁の統計調査や景況感に関する談話からは、正社員の増加割合が連続して上昇しているそうで、当所にも毎月のようにそういった動きに関する報告を求められるが、当所管内では、就職件数、就職率及び充足率のいずれも、正社員よりも正社員以外の数値が上回っているため、正社員が特段、増加しているとは言えない。
	職業安定所 (職員)	求人数の動き	・新規求人数は前月よりも減少し、前年同月比でも減少する傾向にある。また、3か月前と比べても減少はしているが、年間を通じてみると、緩やかだが増加傾向にある。製造業や建設業の求人増加や、正社員での求人は増加している。また、パートタイム等の非正規労働者の求人票においても、正社員登用制度ありと記載されている求人票が増えている。
	民間職業紹介機関 (営業担当)	採用者数の動き	・企業業績の好調さもあいまって、中途採用市場は引き続き増加する動きが強まるものの、一部の人材を複数の企業が取り合っている状況は変わっていない。
	その他雇用 [ 広告代理店 ] (求人広告担当)	採用者数の動き	・求人広告の件数が、やや増えてきている。また、求人内容も正社員雇用の割合が多い。
やや悪くなっている	人材派遣会社 (支店長)	求人数の動き	・5月の求人数は前年を20%強下回っており、非常に厳しい状況である。季節変動を考慮しても、減少幅が大きい。
	新聞社 [ 求人広告 ] (営業担当)	周辺企業の様子	・足元の企業広告出稿や求人広告の動きをみる限り、悪くなっている。
悪くなっている	-	-	-